

アジアでがんを生き延びる

少子高齢化とNCDs（非感染性疾患）、特にがんを抱える人々が急増する地域社会。同時に、DXやAIの進展が医療の現場に飛躍的な進化をもたらす一方で、社会構造の歪みをも浮き彫りにしています。先進的取組みから周縁化される日本の地方やアジアが直面する課題は共通しており、がんという病はその社会の本質を映し出す鏡でもあります。「進歩」や「発展」とは異なる視点でWell-beingの本質を捉え、持続可能な社会の形を探るべく、Local Cancer Dayの議論を基に俯瞰的な学びを深めます。この学びを土台に、がんを巡る民間企業との連携を社会インフラと捉え、新たな産業創出やアジア展開を見据えながら、各専門領域の視点から解決策を掘り上げていきます。

秋冬学期 WEB授業

オンデマンド
受講可能

金曜日 6限

19:00-
20:30

2単位
再履修可能

10/11 学際研究において大学が果たすこと「アジアでがんを生き延びる」

齊藤 延人 | 東京大学理事・副学長、東京大学大学院医学系研究科教授
岩崎 甫 | 国立大学法人山梨大学・副学長、AMED 医薬品プロジェクト PD
辻 哲夫 | (一財)医療経済研究・社会保険福祉協会理事長
河原 ノリエ | 東京大学東洋文化研究所特任准教授、アジアがんフォーラム代表理事
服部 幸應 | 学校法人 服部学園 服部栄養専門学校 理事長・校長
楢村 春彦 | 佐々木研究所附属杏雲堂病院院長、浜松医科大学 名誉教授
吉見 俊哉 | 東京大学 名誉教授、國學院大学 観光まちづくり学部教授
堀田 季何 | 一般社団法人現代俳句協会 常務理事 社会事業部長

10/18 労働生産性を再定義するということ「越境人材とウェルビーイング」

大割 慶一 | KPMGヘルスケアジャパン株式会社 代表取締役
古井 祐司 | 東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授
山崎 牧子 | 経済産業省 ヘルスケア産業課 課長補佐
磯部 昌宏 | 住友商事株式会社 海外ヘルスケアユニット 事業開発第二チーム 課長

10/25 DXが炙り出した不都合な真実と向き合う 「生成AI・DXによる地域医療」

Jeff Dunn AO | President, Union for International Cancer Control (UICC)
野田 哲生 | (公財)がん研究会 がん研究所所長、UICC日本委員会 委員長
坂野 哲平 | 株式会社アルム 代表取締役社長
中金 斉 | 国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
松橋 延壽 | 岐阜大学大学院医学系研究科 消化器外科・小児外科学 教授
鶴田 真也 | 厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課長

11/8 地方からアジアの未来が見える「日本の原風景とアジア」

齋藤 滋 | 富山大学 学長
浅沼 一成 | 前厚生労働省 医政局長、国立保健医療科学院 次長
田島 和雄 | 洗心福祉会美杉クリニック 院長、UICC日本委員会 名誉会員
野崎 慎仁郎 | WHO西太平洋地域事務局コンプライアンス・リスクマネジメントオフィサー
宇野 晶子 | 北陸電力株式会社 社外取締役

11/15 ひとは合理的判断で生きてはいない「生老病死を考える」

垣添 忠生 | (公財)日本対がん協会 会長、(国研)国立がん研究センター 名誉総長
水林 慶子 | 光教寺(南砺市) 住職代務者

11/22 高齢者が支える地域経済「地域を支える健康経営」

宮窪 大作 | 宮窪建設株式会社 代表、砺波市庄川町東山見地区自治振興会 会長
金子 恭大 | 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 係長
松井 泰治 | 全国健康保険協会 富山支部 前支部長
川合 洋平 | 日の出屋製菓産業株式会社 代表取締役社長

11/29 介護とがん医療をつなぐ「住み慣れた地域で最期まで」

鷹羽 律紀 | 岐阜大学 地域共創型飛騨高山医療者教育学講座 特任助教
柴田 祥宏 | (公財)がん研究会 がん研究所所長、UICC日本委員会 委員長

12/6 Better Together 「NPOと民間企業の連携」

Darian Stible | Executive Director, The Partnering Initiative

12/13 AI診断による遠隔医療と研究データ

坂野 哲平 | 株式会社アルム 代表取締役社長

12/27 「粧う」ことで健康寿命を伸ばす

池山 和幸 | 株式会社資生堂 みらい開発研究所

1/10 包括的な職場ウェルネスプログラムと医療費抑制投資

磯部 昌宏 | 住友商事株式会社 海外ヘルスケアユニット 事業開発第二チーム課長

1/24 よきことを伝える「地域社会との共生」

今田 正男 | 株式会社ヤクルト本社 経営サポート本部 常任顧問

開講科目：地域文化研究特殊研究V/Specialized Topics in Area Studies V
時間割コード：31M220-1377A/31D220-1377A 共通科目コード：GAS-AS6H07S5
担当教員：東京大学東洋文化研究所 特任准教授 河原 ノリエ

2011年から続いた全学横断型連携教育プログラム「アジアでがんを生き延びる」は、がんを医学はもとより、政治・経済・文化など様々な領域から捉えてみることを学問的考察の端緒とする「Cross-boundary Cancer Studies」として継続している。東洋文化研究所においてなされるUICC-AROとのアジアがんUHC政策研究の一環としてUICC-AROからの後援も継続している。

UICC-ARO
UICC ASIA REGIONAL OFFICE

UICC
Member

Asia
Cancer
Forum

AFRI